

都留市における加工業者と連携した 米粉用米生産の取り組み

「総合技術普及センター」



● 直播栽培現地検討会

栽培特性
米粉パン加工適正
「あさひの夢」



● 米粉パン加工適正の検討

都留市では、市内の加工業者から地元産の米粉用米の供給が求められているため、平成21年から市が中心となって栽培を行っており、平成23年には4ha作付けされました。米粉は、小麦粉の代替として使用することで、食料自給率の向上に貢献する食材として注目されています。しかし、主食用米と比べて単価が安いと、収量の向上と、省力・低コスト化技術の検討が求められています。

平成22年には、市、加工業者、試験研究と連携して品種検討を行った結果、栽培特性・米粉パン加工適正の両面から、「あさひの夢」が有望品種として選定されました。

平成23年には、省力・低コスト化を図るため実証ほを設置し、疎植栽培と鉄コーティング直播栽培を検討しました。実証ほでは慣行栽培並みの収量が確保でき、現地検討会・成績検討会を開催した結果、疎植栽培・直播栽培の省力・低コスト化効果が理解されました。

また、巡回指導により穂肥の施用を徹底するなど、収量の向上を図っています。

米粉で作ったパン等は、地域の道の駅やPA、生協や学校給食等で販売され好評で、一層の拡大が期待されています。新しい特産品として定着するよう、今後も引き続き実証ほを設置し地域に適した栽培技術を検討するとともに、技術の普及を図っていく予定です。

新銘柄鶏 甲州頬落鶏の 生産拡大に向けた 取り組みについて

「畜産技術普及センター」



● 飼育中の甲州頬落鶏（ほおとしどり）

全国的にも知名度の高い甲州地どりは、肉の締まり、歯ごたえの良さとうま味に定評がありますが、畜産試験場は、近年の消費者の多様化するニーズに応えるため、ブロイラーよりも美味しく低価格で購入しやすい肉用鶏を新たに開発することとしました。父親には大型鶏のレッドコーニッシュ、母親には甲州地どりをういた新銘柄鶏「甲州頬落鶏」を作出し、平成22年より肉用鶏農家で生産が行われています。甲州頬落鶏は、肉質に適度な歯ごたえや旨みを付与するため、ブロイラーよりも長い84日程度の飼育期間が必要です。また、肉質の斉一性を高めるために、飼料給与や飼育密度などの飼養基準を定めたマニュアルが作成されています。畜産技術普及センターでは、甲州頬落鶏の生産拡大に向けた取り組みを支援しておりますので、甲州頬落鶏の生産に興味のある方は、畜産技術普及センター又は家畜保健衛生所までご連絡下さい。



● 名前の由来

「甲州頬落鶏」という名前は「頬が落ちるほど美味しい」というイメージから、山梨県の農政アドバイザーを務める小泉武夫東京農業大学名誉教授が命名しました。また、甲州頬落鶏の肉が甲州ワインにとっても合うことから、「天下無敵の頬落鶏に甲州ワインはピタリンコ」というキャッチフレーズも同時に考案されました。

Yamanashi Agricultural Extension Service Information 山梨県普及センターだより No.16

No.16

平成24年
3月21日発行

編集／発行●山梨県総合農業技術センター
住所●甲斐市下今井1100 〒400-0105
電話●0551-28-2496 Fax.0551-28-4909
http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/sougonoshi/index.html
E-mail sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp



果樹の省力化技術の普及について

果樹栽培者の高齢化や耕作放棄地対策として、管理作業の省力化が求められています。



「果樹技術普及センター」

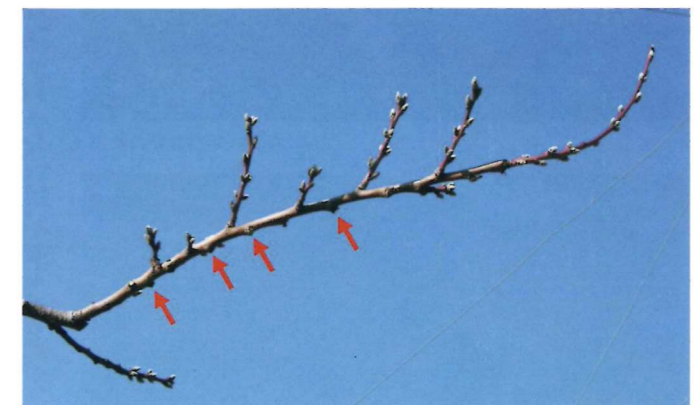
● 早期着果調節後の結果枝の着花状況 短果枝(左上)、中果枝(右上)、長果枝(下)

果樹栽培者の高齢化や耕作放棄地対策として、管理作業の省力化が求められています。

そのため、果樹技術普及センターでは、本年3月2日に果樹試験場試験研究成果情報で発表された「モモの早期着果調節と短果枝削減による省力化」の普及に取り組めます。

この技術は、摘蕾・摘花を主にした早期の着果調節で、仕上げ摘果までの着果調節の作業時間を約50%削減、短果枝数の削減では約30%削減が可能です。また、変形果や核割れ果発生への影響はともに小さく、しかも果実重の増加傾向が認められます。

この技術を現地実証し、すみやかに普及を図るため、県内の各モモ産地に展示ほを設置し、検討会等を開催する中で、栽培者・指導者の技術の理解を図ることとしています。今後も、省力栽培技術を農家の皆さんに組み込んでいただけるよう支援をしていきます。



● 「30%短果枝削減後の枝の状況(矢印部分の短果枝を剪除)」



Aim at the No.1 peach of Japan.
日本一の桃を目指して...